



ふるさとの山を歩こう

—— 長者ヶ岳 (1336m) ~ 天子ヶ岳 (1330m) へ ——

長者ヶ岳・天子ヶ岳は富士山の西側に位置した尾根続きの山です。

田貫湖の『休暇村富士』正面玄関を背に目の前の駐車場を抜け、林道を右に進みます。(田貫湖の湖面に映る富士山を見なければ“休暇村富士”脇の遊歩道を展望デッキまで下ります。) 林道終点からは樹林のなかの登山道をシグザグ折れながら登って行きます。“休暇村分岐”に着くと田貫湖の北岸(小田貫湿原脇)からの東海自然歩道が合流しています。樹林が切れてくると、田貫湖と富士山のコントラストが素晴らしく、運が良ければ、朝まだきの霧の中「モルゲン・ローゼ」が見られるかも……? そこからは東海自然歩道として整備された尾根道を長者ヶ岳山頂へ進みます。眺望のきかない樹林の中の緩斜面・急登を繰り返して、汗ダクになりながらひたすら登ります。やがて道がゆるやかになって長者ヶ岳の山頂。長者ヶ岳の山頂は東側の富士山側に樹木がなく絶好の展望台です。対面する富士山の“大沢崩れ”の大きく裂けた崩落地形を間近かにみると、その圧倒的な迫力に眼を奪われます。



明るい広葉樹林の縦走路。もうすぐ天子ヶ岳山頂へ



長者ヶ岳山頂から臨む“大沢崩れ”足下に朝霧高原が……

振り返った西側は樹林に覆われていますが、わずかに南アルプスが展望。南側を天子ヶ岳に向けてゆっくりと下ります。下り切った所が東海自然歩道との分岐。右手佐野への道は無視して直進します。いくつか岩の間を通り抜けると傾斜がゆるやかに天子ヶ岳山頂。ここも樹林に占拠されているので、白糸滝方面へ少し下がった『富士見展望台』まで絶景はガマン!!

帰りは、ほとんど眺望のきかない下山路の東へのびた尾根道を急下降し、桜並木の平坦地を通って林道に降り立ちます。林道を北に1時間程で出発点の『休暇村富士』に帰り着きます。が、歩き足りなかったり、辺りをキョロキョロしたければ林道を横切って植林地帯を下り、一段下の林道三叉路に下りて白糸滝方面へ……右手に“白山神社”、その下側、佐折集落の分岐を右に行き立石集落を経て白糸滝バス停へ辿り着きます。

コースタイムは約5時間、コース距離は約10km。サクサクと落葉を踏んで小春日和の陽ざしのなか、老いも若きも、程良い汗を掻くこと請け合いですヨ。
K・H

年送り・年迎元の神事



■村山浅間神社

(正式名：富士根本宮村山浅間神社)

平成22年12月31日「元日禊の水垢離」

23:50 御破い

平成23年 1月1日 0:00 元旦禊初め

0:30 神輿担ぎ初め

■浅間大社

(正式名：富士山本宮浅間大社)

平成22年12月31日「師走大祓式・除夜祭」

平成23年 1月1日「元旦祭」— 初詣

1月2日「御日供始祭」

1月3日「宮中三殿遷拜式」

1月4日「末社水屋神社例祭」

■浅間大社

新成人へ“元旦禊の水垢離”神事のお誘い
 *成人の記念に富士山に一番近い禊場で富士山の
 霊水で水垢離をし心身を清め、
 成人となる心構えと責任を祈願しませんか？
 女性の参加希望者も受け付けます。

問合せ：(社)富士宮市観光協会

TEL 0544-27-5240

<http://www.fujinomiya.gr.jp/>

巨大タコが舞う・富士宮市 たこたこあがれ in 富士山

◆ 2011年 1月22日(土)
 午前10時～午後3時

※雨天の場合は順延 23日(日)

◆ 朝霧アリーナにて

問合せ：富士宮市観光協会

TEL 0544-27-5240

<http://www.fujinomiya.gr.jp/>

富士山の麓、澄みきった青空の中で
 凧揚げを思いつきり楽しみませんか？

10:00 たこあげ、和たこの製作(先着50名)

11:00 巨大タコあげ、スポーツカイト体験

12:00 スポーツカイト体験、デモンストレーション

13:00 たこあげ、和たこの製作(先着50名)

14:00 巨大タコあげ、スポーツカイト体験

15:00 お楽しみ抽選会

平成22年度 富士宮市ボランティア連絡会

ふれあいトーク

日時：H23年1月23日(日)

10:00～14:00

場所：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

内容：市内のボランティアグループの活動紹介

・パネル展示

・活動発表

・ステージ企画&活動発表

富士宮市観光ガイド
 ボランティアの会の
 寸劇もお楽しみに！

問合せ：富士宮市総合福祉会館

TEL 0544-22-0054 FAX 0544-22-0753

ついでに 田貫湖だより



田貫湖へら鮎の放流

富士宮市観光協会は、へら鮎釣りで人気の田貫湖へ12月中旬(予定)、へら鮎の成魚を放流します。大型のへら鮎が釣れるとの評判で近郷ばかりか他県からの釣り客も多く釣り大会も盛況です。

※詳細は(社)富士宮市観光協会へ

TEL 0544-27-5240 FAX 0544-26-0066

この店

沖縄そば 菓子工房
「しまとうがらし」



黄色の地に沖縄独特のピンガタ暖簾と“めんそーれ”と書かれた看板に迎えられて、初めて入った沖縄そばのお店。沖縄そばとは『そばという呼称だが蕎麦粉は用いず、麺は小麦粉100%で、かん水またはガジュマルの灰汁を加えて打たれる。製法的には中華麺の一種で麺は一般に太めで、和風の出しを用いることもあり、その味や食感はラーメンよりも肉うどんなどに類似する』と説明書きにあった。初体験だがなかなか相性が良い。

店の名前にもなっている沖縄特産の“しまとうがらし”を振り入れると風味が増すが「超辛いから2振り程で良いでしょう」と若い店主が老体を気遣ってくれる。

言う事を聞いて、正直に2振り・・・成る程、馴染む味である。イケル味である。が一寸物足りない、

調子づいて、もう残り

少ないソバに内緒でまた2振りした。

うん、美味しい・・・の次がイケなかった。やや時間差があって超特級に見舞われた。頭にチンと来て鼻水グスン（如何致したのか・・・）一瞬だけ思案したが不思議に後を引かない。むしろ甘やかな味覚になっている。（ヤダ、このお店何だか癖になりそう・・・）

10人も入れれば満杯になりそうな可愛らしい店構えで何ともアットホームな雰囲気。初対面なのに妙に会話が弾む。店主の下地さんご夫妻のお人柄のせい!?

この日も近所仲間の常連さんが「勝手知ったる他人の家とばかりおそばとおしゃべりを楽しんでいた。
K・H

冬至

冬至は毎年12月22日から23日ごろで、中国24節気のひとつ。太陽が最も南に偏り、正午における太陽の高さは一年中で最も低い。昼間の長さが最も短く反対に夜の長さが最も長くなる。冬至を過ぎると昼の長さが最も長くなる。

冬至にかぼちゃを食べると中風にならないといっってかぼちゃを食べる風習が各地にある、さて、みなさんのお宅では食べますか。 H・S



七草

1月6日の夜から7日にかけての行事である。6日の晩は七草叩きといっって「七草なずな唐土の鳥が渡らぬ先に合わせてばったばた」と唱えながら葉を刻むが、その文句は土地によって少しずつ違い、鳥追いのときの唱えごとと共通している。

7日の朝の粥に、その葉を入れて食する風習は全国的に行われているが、地方によっては雑炊や雑煮に入れるところもある。

当初は、草でなく七つの穀物(稲・麦・豆・粟・小豆・きび・小麦)を粥に炊いたものといわれている。鎌倉時代ころから七つの野草や菜になったといわれているが、今では葉であれば何でも7種あればよいと時代と共に変わってきている。

七草粥を今日的に考えてみると、冬季に不足がちなビタミンCの補給のためにもなり、また正月の食べすぎのための胃腸の負担を出来るだけ軽くし、休養をあたえるということで極めて合理的な食事といえよう。長い年月をかけて我々の祖先が作りあげた生活の知恵といえる。ちなみに、七草とは(せり・なずな(べんべん草)・御形(母子草)・はこべら・仏の座(おおぼこ)・すずな・すずしろ(大根))をいう。今ではスーパーに行けば、セットになって売っているそうだ。 H・S



平成23年

高砂酒造蔵開き

日時：平成23年1月16日（日）

午前9時～午後1時（受付終了12時）

場所：富士高砂酒造株式会社

富士宮市宝町 9-25

TEL 0544-27-2008 FAX 0544-23-1752

JR 身延線 西富士宮駅下車徒歩 10 分

※受付入場は新設駐車場をご利用下さい。

※入場は無料です、お気軽にお入りください。

